

保育おおさか

No. **438**

平成 24 年 2 月 1 日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺 1 丁目 1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

<http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/>



のびのびと自由に生活する園児たち

観光地のワイキキから車で20分ほど外れた閑静な住宅街の中に立地する当施設は、芝が敷き詰められた緑豊かな園庭と、それを取り囲む薄茶色と薄クリーム色とのコントラス

閑静な住宅街にある 色鮮やかな校舎

第37回保育海外研修は、1月5日～10日の6日間の日程でハワイ・ホノルルを訪問。36人が参加し、現地の施設「スターオブザシー」を視察しました。

(関連記事2面)

豊かな心はぐくむ グローバルな保育

第37回保育海外研修

トが効いた美しい園舎からなります。子どもの安全を確保する理由から、四方が囲まれています。正面玄関から入ると、大きな柵の向こうに広がる明るい園庭が真っ先に目に入るため、閉ざされた施設のイメージは全くありません。

2歳から7歳まで、2000人の園児が在籍し、保育時間は、午前7時～午後5時45分まで。入園条件は特になく、希望により入園できます。職員の配置は2歳～3歳1・5、3歳～7歳1・10です。ちなみにハワイ州の基準は2歳～3歳1・8、3歳～7歳1・16ですので、より細やかな対応ができる態勢です。

基本的な施設・設備は、日本の保育園とほぼ同じです。

調理室で給食が実施され、アレルギーには医師の診断書を基に除去食・代替食で対応しています。

トイレは乳児・幼児用に分かれ、そ

れぞれセンサー式の水道とペーパータオルで手洗いをします。

各クラスに設置されているカメラは四隅に4台。保護者の方からの要望があれば、モニタールームからクラスや子どもの様子を複数の角度から見るができます。

「選べるコーナー」で遊んで学ぶ

モンテッソーリ教育を実践している当園では、成長に必要な環境の整備が重要とされ、各保育室には、成長段階に合わせ多彩なコーナーが設けられています。

(2面に続く)



校舎の前で記念撮影

先日、姪のバレーボールの応援に東京へ行った。日本一を賭けての夢舞台、全国から強豪チームが出場する。会場は入り口から凄い人で埋め尽くされている。大型の2階建てバスも次から次と途切れなくやってくる。

人の隙間をくぐり抜け、やつとの思いで応援席に着いた。各チームの応援も凄い。大太鼓、チアガール、そしてリーダーに合わせてメガホンを手に力のこもった応援。大きな力強いパワーを感じた。

1点、2点と点が入ったり入られたりと、粘り強いラリーが続いたが、さすがは全国からの選りすぐりの強豪チーム、優勝はできなかったものの、すばらしい試合だった。

「自分を信じて、仲間を信じて」負けても精一杯がんばった姿が清々しかった。姪も、これで引退。

3年間で学んだことは、きつとこれからの人生に大きな自信となるだろう。

そして、今年こそ幸多き一年であることを願う。



(編集委員 K・M)

(1面から続き)

文字、数という基本的な学習ができるものはもちろん、聴覚、触覚といった感覚を使うもの、アートなど表現力を使うもの、さらには宇宙のありよう、世界の文化、言葉、自然など、社会的な学習ができるものなどがあります。子どもたちは自分の意思でコーナーを選び、楽しみながら学習しています。とりわけ、社会的な学習ができるコーナーには力を注ぎ、「今週はアフリカ」というように、期間ごとにテーマを設定し、その



芝の緑が鮮やかな校庭

モンテッソーリ教育では「主要な教育者は保護者である」と位置づけられ、2週間に1回、手洗い、食事の摂り方、生活習慣など、子どもだけでなく、家庭に向けたワークショップを開いています。幼い頃から日常的に、社会的な学習ができるというのは、と

都度環境を整備しています。臨床心理士が週1回巡回して心理的なサポートを行っています。発達を促すためのプログラムとして、ピアノ、体操、日本語、レゴ、テニス、コンピュータなどにも力を入れています。

子どもが自ら育つ環境ととのえる

安心、安全に学べる環境を用意し、子ども自身が自信を持ち、学ぶことを愛するように、さまざまな取り組みがなされています。



青空が映える美しい校舎

でも新鮮でした。ハワイという多種多様な人々が住ん

調査研究委員会より

労務管理セミナー

求めている人材の採用が重要

1月18日、大阪府社会福祉会館で、「今さら聞けない労務管理」と題した職員研修会が行われ、社会保険労務士の本田直子氏が講演されました。

雇用におけるトラブルのとは

保育所における職員の雇用に関するトラブルを「使用者と労働者の約束(契約)」をめぐる生じる労働紛争」としたうえで、トラ

でいる地域だからこそ、文化を理解し、他の人を尊重する力を育てることが大切なのだと思っています。

子どもの全てを全人的に受け止め、自立心を養い、自分自身で考え進めていくという教育方針に基づいて環境が整えられていることに感銘を受けました。

(やまだい保育園T・S、玉櫛たちはな保育園T・I、たちはな保育園N・T)

ブルになる4つの要素を挙げられました。

- そもそも約束がない
 - 約束があっても不明確
 - 約束についての認識の違い
 - 守れる約束ではない
- 特に、公務員の就業規則



「介取り(臼取り)」講習会のお知らせ

川崎会(昭和50年代・調査研究委員会メンバーの親睦会)では、日本の伝統を継承するため、餅つきに大きな役割を占める介取りの人材育成を図ります。ご興味のある方はぜひご参加ください!

日時:平成24年2月18日(土)14時~
場所:横塚台保育園(堺市南区横塚台3-5)
参加費:2,000円(当日徴収させていただきます)
定員:20人程度(先着順)

参加希望の方は、保育園名、氏名をご記入のうえ(様式は問いません)、下記までお申し込みください。

FAX:072-297-9484



講演する本田氏

をそのまま採用していることがあり、今の時代にあったものに修正する必要があります。

トラブルの予防・解決のために

雇用主と労働者の間の約束をめぐる生ずるトラブルをいかに予防するか、また、発生した場合にいかに解決するかについてポイントを指摘されました。

る、トラブル人材との円満な契約解消に努力するなど、なるべく早期に解決することが望まれます。

トラブルを予防するためには、採用選考時が重要です。採用時には、どのような人材を求めているのかを明確にし、その条件にあった人材を採用することが重要です。お互いがトラブルを防ぐ観点から規定範囲や誓約書などを取得すること、さらに、トラブル人材に対応できるように、定期健康診断以外の健康診断規定、休職規定、各種命令権の取得、懲戒規定を整備することが必要となります。

(橋本保育所T・K)

社

会福祉法人山善福
社会 おとのは学園

0.0㎡もある、おとのは学
園の自家農園です。

は、平成18年に設立された
定員90人の保育園です。

「自分たちの食べるお米
は自分たちの手で」という
取り組みがあります。

一見すると小高い丘のよ
うな外見の園舎には、家庭
的な温かさとともに、家
では体験することのできない
活動ができるよう、「安全
性」「快適性」に加え、五感に
よる「創造性」を感じられる
環境が用意されています。

2階から直接園庭へと続
く土のスロープを降りる
と、一面に「ファームおと
のは」が広がります。73

自分たちのお米は自分たちの手で 土に親しみ自然を身近に感じる

五感による創造性はぐくむ環境
自家農園「ファームおとのは」

茨木市

おとのは学園



一面に広がる緑の稲



泥んこになりながら田植えする園児

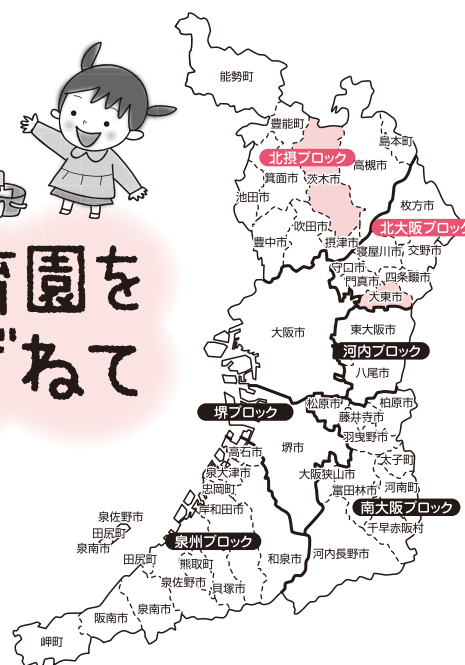
子どもたちが土に親し
み、自然を身近に感じられ
るよう、作物をつくる経
験を通じて、生きるための
根源的な力をたくましくし
てほしい。スロープを元氣
に駆け上がる子どもたちの
姿からは、さまざまな思い
が感じられました。

(編集委員 T・N)



保育園を
たずねて

442



平

成21年、定員90人
の新田保育園は、

元々、保育園が少なかつた
大東市西部に新設されまし
た。近年の景気後退に伴い、
工場などの閉鎖や廃業が増
え、跡地にマンションが建
ち始めました。このため、
待機児童が急増し新設保育
園が必要になりました。

保育園の運営は初めてで
したが、園舎の企画・設計
は、理事長が以前工務店を
経営されていた経験などか
ら、スムーズに出発するこ
とができたそうです。ただ、

開園当初の受け入れ園児



園庭開放楽し～よ！



山王宮神社で獅子舞どきどき！

は、市内の他の園から数人
の転園があつたものの、60
人ほど。園児のほとんどが
集団生活に慣れない乳児た
ちでした。1歳児は20人。

全園児の3分の1を占めま
した。全職員が一丸となり、
「頑張らなければ」との熱意
で乗り切られたそうです。

地域に根ざした保育園で

全職員一丸となり頑張る中 110人超す元気な園児

地域の行事にも積極的に参加
子育て支援にも取り組む

大東市

新田保育園

事には積極的に参加。4・5
歳児は、近くの新田山王宮
大神社で湯神楽に参加しま
す。神前の釜で湯を沸かし、
神を浸して、お祓いをし、パ
ラパラと飛び散る水滴で身
を清める神事です。その後
に獅子舞が行われ、園児の
頭をガブリ。今回は一人も
泣かなかつたそうです。

園庭開放をはじめ、体育
あそび、歌あそび、講演会
など、地域の子育て支援に
も積極的に取り組んでいま
す。地域の親子同士がふれ
合う機会として毎回参加者
が増え、楽しく遊べる場
になっていきます。

(編集委員 J・H)

四季折々・自然の中で育つ 安全でおいしい和食が自慢

子どもたちの世界を守る
小さな保育園の大きな願い

河内長野市

観心寺保育園



みんなで育てた野菜が
こんなにたくさん獲れました



群れてあそび全身泥んこ



大自然に囲まれた園舎

子どもの世界を大切にしたいという渡辺範子園長は、月刊『母の友』（福音館書店）に「園景色」を連載されています。テーマは「子どもの世界」「充分な子ども時代を送らせることこそ大人の責任」とおっしゃいます。

園内には大変印象的な吹き抜けのレストランコナーがあります。開園以来、給食は和食。安全でおいしい素材を大切にされています。保育室には積み木、台所、描画材料などのコーナーがあります。乳児室は手作りの布を工夫し、柔らかな光に覆われています。

（編集委員 N・M）

利観心寺の目の前、木々に囲まれた木造の園舎を訪ねました。山の草木だけで造園された前庭の風景は、四季折々に変わる自然が迎えてくれます。

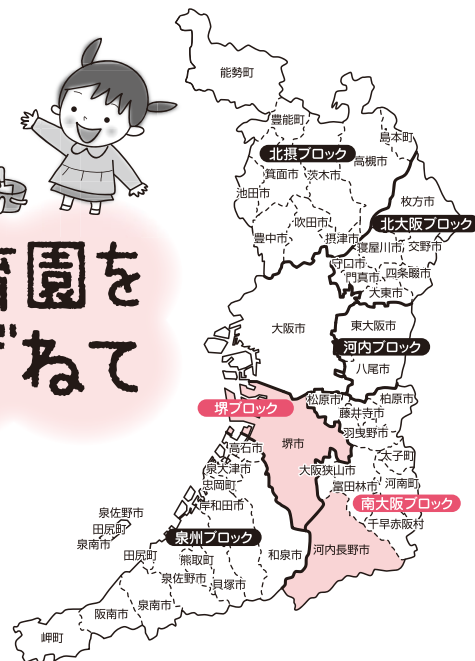
園内には大変印象的な吹き抜けのレストランコナーがあります。開園以来、給食は和食。安全でおいしい素材を大切にされています。保育室には積み木、台所、描画材料などのコーナーがあります。乳児室は手作りの布を工夫し、柔らかな光に覆われています。

現されています。「ひとりひとりが輝いている生きる喜びを感じ取れる子どもを育てましょう」という手作りのポスターが職員室に掲げてありました。60人定員の小さな保育園の大きな願いが伝わってきました。



保育園を たずねて

443



平

成23年4月、堺市の
大鳥大社の近くに、

地域の待機児解消のために
開設された保育園です。

園舎の屋上には「ペガサス」のオブジェがあつて、子どもたちが健やかに育つよう見守ってくれているようです。

子ども一人ひとりの「今」を、そして「心」を大切に、保護者や地域社会と共にすべての子どもが人間らしく生きるための基礎となる力を育てるという保育理念のもと、よりよい保育を提議できるうちにさまざまな

取り組みをされています。



ペガサスのオブジェがある園舎



食育の日

全園児の家庭訪問から始める 保護者の思い知り保育に生かす

食を大切にする心を育てる
地域に貢献し地域に開かれた保育

堺市

ペガサス保育園

子どもたちの住んでいる地域がどんなところなのか、保護者の方がどんな思いを持っているのかを知り、それを保育に活かすために全園児の家庭訪問から始めます。

食を大切にする心を育てるために、園庭で夏野菜のピーマンとオクラを育てています。給食に自らが収穫した野菜が入っているのを見た子どもたちは「ワァー、オクラって可愛い！お星さまみたい！」と、歓声をあげたそうです。

秋の遠足で芋堀に行き、掘った芋を使って園庭で焼き芋大会。12月には、薪で

火をおこし、蒸したもち米を臼と杵を使う伝統的方法でお餅つきをしています。

地域の方にも広く保育園を利用してもらうと、週3回、保育室を開放。地域からたくさんの親子が遊びに来ます。職員が子育ての悩みを聞いたり、一時保育の申込み受付もします。保護者同士の交流も生まれるそうです。

一時預かりや障がい児保育などの特別保育にも積極的に取り組み、地域貢献する社会医療法人ペガサスと協力し、地域福祉の向上に努めています。

（編集委員 K・K）



北摂ブロック—摂津市

第二とりかい保育園の事例

● 保育園がつくるコミュニティ ●

地域との一体化めざす

ルールと役割で成り立つコミュニティ

私たち人間は、コミュニティの存在について、普段は、ほとんど意識することがないように感じます。例えば、家族や職場の周りの人たちはいつも一緒にいるのが当たり前であって、そこにコミュニティがあると考える人は滅多にいません。しかし、人と人とのつながりが、何かの拍子に離れ離れになると、とたんにコミュニティの存在を感じるようになります。

「ルール」の3つの要素で構成され、それらが人間の活動に、密接に関連しています。その内の「役割」と「ルール」から、「コミュニティ」が構成されていると、ヘルシンキ大学のエンゲストロームは言います。例えば、人間はバットやボールなどの「道具」に加えて、野球のルール、審判、応援する人たち、他の選手といった「役割」があつて、はじめて野球をすることができま



子育て支援活動の様子

す。野球をする人たちのコミュニティが成り立っているのです。(図参照)

では、保育活動では、どのようなコミュニティづくりのきっかけがあるのでしょうか？

公民館を活用した子育て支援

この支援活動では、保育士とボランティアが2週間に1度のペースで、地域の親子に交流の場を提供。当初、保育機能の提供を通じた地域貢献という位置付けでスタートしたこの活動は、順調な運営ができていましたが、次第にボランティアと保育士との連携不足や、親同士の交流が進まないといった問題が生じるようになりました。

原因は、子育て支援の場

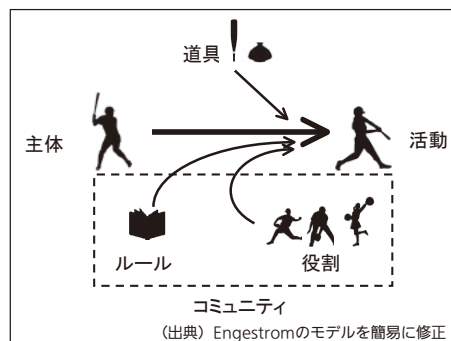


図 エンゲストロームによる活動の要素分析(活動理論)

を「楽しむ場」として捉える子ども、「我が子の成長の場」と捉える保護者、「社会貢献の場」と捉える保育士、「子どもと関わる場」を望むボランティア...というように、それぞれが別々の役割を目的にしている点です。

活動の役割やルールを新しいものにつくり変え、参加者それぞれの目的を統合する必要を感じています。

子育て支援の場の規約(ルール)づくりや、保護者やボランティアの運営への参画(役割)を促すことで、「地域での育ち合いの場をつくる」という共通目的へと発展させ、地域のコミュニティの活性化にまでつなげたいと、改善を試みているところです。

高齢者施設の訪問活動

年に一度のペースで進めている高齢者施設の訪問活動は、施設で介護を受ける高齢者を元気づけ、子どもたちの成長の場にもなっています。子どもたちが歌やお遊戯を大々的に披露し、高齢者にやさしく接する姿は微笑ましいものです。世代を越えたつながりをつくるコミュニティづくりといえます。

しかし、この訪問活動にも、その場かぎりで終わっているという問題があり、コミュニティに継続性を持たせることの難しさがあります。そこで、訪問という活動目的の限界に着目しました。訪問の場を、社会貢献という役割ではなく、「地域とともに老い育つ場への参加」という共生的役割に転換する必要を感じ、一方的な訪問者として終わるのではなく、高齢者を何気なく訪問するためのルールや役割を模索しているところです。少人数での訪問や、繰り返し

訪問も改善案の一つとして挙がっています。

既存のルールや役割を意識し、変化させることこそが、コミュニティづくりです。当園での子育て支援や訪問活動から汲み取るべき教訓は、コミュニティづくりは、一方通行の地域貢献だけでは限界があり、既存のルールや役割を地域と一体化できるように変化させることが不可欠だということです。公益性の高い認可保育所の使命には、地域貢献の枠を越えた地域との一体化(コミュニティづくり)を加える必要があると考えます。

地域と一体のルールと役割を定める

また、施設の高齢者のみならず、地域の介護を必要としない高齢者との交流の場を増やすことも一つかもしれません。



高齢者施設への訪問活動

食べて、動いて、
よく眠る大切さ
考える

北摂ブロック保育部会は、11月28日、千里阪急ホテルで研修会と懇親会を開催。武内慎吾部会長は「子ども・子育て新システム検討

如月。寒の戻りなど、まだまだ寒く、衣をさらに着込むことから「きぬさらにきに衣更着」が語源になったとか。節分・春・夏秋冬を区切る節目。前の日が立春でも、まだまだ寒いわな！ 喰いしん坊の私に、「かき餅

やれ」とリクエスト。ん、まあ道具一式と乾燥させる部屋もあるし、でけんことないな。かき餅だけでは寂しいなあ。ベーコン作って、炭火でネギ巻いて焼いたら、旨いでえ、寒空の下で!!

不思議にアレコレ書きが浮かぶ。夜はさむ過ぎるから、日曜の昼になるな。昼やと腹もすく。牛スジカレーも仕込もかな。スジがあるなら、おでんも…。

旬の大根。芯までダシを染み込ませるには

旬の大根を厚切りに、芯まで
ダシを染み込めます。①とろ火で
四時間（堺で有名なおでん屋の
親っさんの話）②煮立てては冷
ますを繰り返す。旨いモノ食べ
るには、手間と時間が！

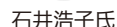
話は変わり、大阪維新の会、

橋下代表の国政政党への勢いに既成政党の多くは「うちの選挙区に候補者立てんといてや!」「あんたらの言う大阪都構想は理解」「我が党は前向きに支援したい」と受け取れるような態度。

大阪秋の陣の圧倒的勝利に、各政党も知らん顔はでけへん。選挙中とは手のひら返すごとく、勝ち馬に乘れ！」が見え見え。選挙の裏話、これまた面白い。地下鉄も安うなりそうやな。

生活保護受給者が約210万

人びつくり！ 40歳過ぎから私は、委嘱されて地区民生委員を務めている。役所からのお知らせを見ると、最近、大阪市からの高年齢の転入者が多い。この地域の5年、10年先を考えると、心配！



機児童対策、各市社会福祉協議会との連携や地域貢献事業、会議・研修会の開催、社会福祉団体への参加・協力状況など、多岐にわたって発表され、他市保育園関係者にとっても大変参考になる内容でした。

研修会では、石井浩子氏（京都ノートルダム女子大学・准教授）が「生活リズム向上キッズ大作戦―あきらめないで今日から始める子どもたちの生活リズム向上」と題して講演。近年の子どもたちの気になる点として、

①睡眠状況 ②朝食摂取・排便状況 ③身体活動量

④前頭葉の発達・発育の4つを示され、これらの改善点や「食べて、動いて、よく寝る」ことの大切さを強く調されました。

「独り親家庭の証明を書いて!」と、最近入園してきた独り親家庭の母親。「あのう、迎えに来てる男の人は誰?」と問えば、「あの人は別れた主人で今住むとこ無いから、仕方無しに住んでる」やと。…うーん

て言うてるけど……。翌月
転園を希望して引越して
いったとか。「生活保護受
けるのに、証明をもらわな
いから役所で尋ねたら
なんと、團長が民生委員やない
の！ 具合悪過ぎるがな。あん
た、他所行こー」てな具合だろう
大阪には、こんな人がどつさ
り居てゐるらしい。本当に困つて
いる方のためにこそ施策は必要
なのだが……。

(H・N)

一点突破・全面解決のための知恵などを保護者へ伝え、いく重要性、子どもの健康と前頭葉の発育向上に向けて努力する意義を改めて考えさせられる研修でした。

(玉川橋保育園M・K)

「權利條約」講演

—堺市民間保育園連盟
園長研修

12月20日、堺市産業振興センターで堺市民間保育園連盟園長研修会が開催され、「子どもの権利条約」をテーマに吉永省三氏（千里金蘭大学教授）が講演しました。

子どもの権利条約と成り立ち、乳幼児期の子どももの権利、ジュネーブ宣言、児童憲章、子どもの権利宣言、国際児童年、子どもの権利条約の国連採択と日本批准など、解説を交えながら丁寧に説明されました。

「私たちは世界の子どもです。…搾取や虐待を受けています。…ストリートチルドレンです。…戦争下の子どもです。…エイズの被

吉永省三氏

害者や孤児です。…質の高い教育や医療を受けられませんか。…政治、経済、文化、宗教、環境によって差別されています。…声には耳を傾けてもらえませんか。でも今こそ、私たちのことを考えてほしいのです。私たちは子どもにふさわしい世界を望んでいます。…私たちにふさわしい世界は、すべての人にふさわしい世界だからです。…子どもの権利が尊重されます。搾取・虐待・暴力はありません。もう戦争もありません。必要な保健ケアが提供されます。エイズがなくなります。環境が守られます。貧困の悪循環はありません。教育が受けられます。子どもたちが積極的に参加することができます」という国連子ども特別総会「世界の子どもたちのメッセージ」を講演の結びに紹介されました。

(堺東保育園T・S)